

共同作業所「神戸ろうあハウス」(後援会ニュース)

わ・和・輪 No.24 2007・初秋号



発行：神戸ろうあハウス運営委員会 Fax&Tel 078-579-0755

ホームページ <http://www.normanet.ne.jp/~rouhouse/> 発効日： 8月 日

残暑お見舞い申し上げます

「立秋」を過ぎたとはいえ厳しい残暑が続いています。

皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか？

いつもあたたかいご支援をありがとうございます。



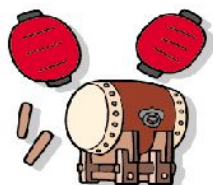
去る8/12に「ひょうご聴障ネット」夏の学習会2007があすテップKOBEで開催されました。今年のテーマは「共同作業所は今…」～自立支援法と共同作業所のこれから～大矢暹氏のコーディネートで県下6箇所の作業所代表が集まりシンポジウムが開かれました。尼崎たつのこ作業所、神戸ろうあハウス、淡路おのころ作業所、豊岡ふくろうの家、はりまふくろうの家、そしてゲストで作業所の大先輩であるいかり共同作業所。それぞれの現状と課題が報告されました。各作業所の立ち上げから現在までの経緯を直接聞き、知らなかった事も多くありました。語られた内容は重みがあり各作業所果たしてきた役割や必要性が再確認できました。当作業所からは山田支援員がパワーポイントを使って現状と経過を分かりやすく発表しました。

今後の課題については、各作業所共通の課題、個別の課題と色々ありましたが、当作業所としてはまず一番に「狭い、汚い、換気が悪い」という環境の悪さです。震災後なんとか「長期在宅になっているなかまが集まれる場」を作りたい、と動き出した時「神戸ろうあハウス」はすぐに使える場所でした。ろう者にとって「神戸ろうあハウス」は大切な歴史のある場所です。しかし年々なかまの数も増え、暮らしの空間としてはけっしてふさわしい場所とは言えません。大矢氏から「今後の夢は？」との問いかけに、フロアから廣瀬運営委員長が拳手・発言。

- 1、広くきれいな場所に引越したい
- 2、なかまたちの暮らしを支える生活施設(例：グループホーム)が欲しい

これは、私達みんなの思いです。夢を夢だけで終らせる事なくそれに向かって強く、そしてしなやかに前進していきましょう。シンポジウムの最後にいかり共同作業所の光岡施設長の「聴覚障害の関係者だけでなくより多くの連帯の中で運動を！」という言葉がドシンと胸に響きました。周りの人達に運動への理解を求め、共感・共働の輪を広げていきましょう。後援会員の皆様一人一人がその原動力になって下さい、よろしくお願いします！

事務局長 小巻 陽子



全国ろう重複障害者施設連絡協議会総会

2007/6/16(土)~6/17(日) 会場：特別養護老人ホーム ななふく苑

2日間にわたって以下のような総会・学習会が行われました、簡単ですが報告させていただきます。参加したどの施設もいまだ流動的な自立支援法に翻弄され、どの事業を選択するのか？ 新事業へ移行してもどのようにしてなかまへの支援をより充実させていくか？ に頭を悩ませている、といった声が多く聞かれました。

1日目・厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 専門官 茅根^{ちのね}氏より行政報告

自立支援法に関する概要説明と現状報告、制度の見直しを含めた今後について

会場からは「応益負担そのものを問題視し、見直すべき」という意見が直接投げかけられる場面も。

障害程度区分について「区分対象を設けている事自体問題視すべき」「介護認定調査を基準に策定している事自体、障害者の現状を正しく表しているのか疑問。障害ゆえの生活の困難さ、支援の必要性をまず判定の基準におくべき」等、率直で最も訴えたい意見が出された。

※9月以降に実施される障害程度区分判定の見直しについて、ろう重複協としては盲重複協と合同で「盲・ろう重複障害者の障害程度区分作業委員会」を組織し8月中に具体的な提案を厚生労働省に行うため検討を重ねている

・全国ろう重複障害者施設連絡協議会総会

前年度の決算報告・19年度の活動計画がそれぞれ審議、19年度の各研修会・学習会についても概略がまとまる

今年度より「あいらぶ工房」(大阪府)加入で協議会は加盟31施設に増加、うち無認可作業所は13。

また協議会未加入ではあるが「らいおん工房」(千葉県)無認可作業所が新設された

2日目・学習会：新事業体系移行後の現状と課題

これまでに新事業に移行、又は移行に向けた取り組みを行った施設より報告

ほくふ障害者作業所：コスモス法人全体で19年4月までにほぼ全ての事業を新事業に移行

理由：支援費制度施行後から職員の人件費をカット、夏ボーナスの大幅減、利用者の確保等…

対策を講じてきたが財政的問題に直面し、早期移行を実施

事業費収入を考慮して、利用者の通所管理をしなければならないケースが出てきている

例：出席しているのに、出席者が多いと事業費減算となるため欠席扱いにしている

くじら共同作業所：19年3月末に就労継続支援B型14名、生活介護6名に移行

17年度から行政の出前講座を利用して制度について学習を重ね新事業移行検討

既存の作業所にスロープや障害者用のトイレ等設備面に課題→助成金・寄付金で賄う

障害程度区分について、家族・職員共にもっと事前学習をすればよかった

→利用者の実態にそぐわない軽い判定結果で家族から不満の声も

膨大な会計事務(請求事務)への対応→月2~3回会計事務所からサポートを受けている

セルブ南風：新事業には20年度を目処に移行予定

セルブの「工賃水準ステップアップ2年次事業」を取り入れ、経営コンサルタントと共に

法人下3施設共通の「ウエス裁断・縫製作業」の工賃水準アップを行った事例を紹介

・他の参加施設の移行時期・内容等についての現状報告

わかふじ寮（北海道） 18年度に就労移行18名 就労継続支援B型22名 へ移行

将来的には就労継続支援A型に移行したい

あさひ共同作業所（新潟県） 現在の作業所を移転→20年度に地域活動支援センターⅠ型へ移行

ふれあいの里どんぐり（埼玉県） 移行時期は未定、国の情勢等を見ながら慎重に検討していきたい

春里どんぐりの家（埼玉県） ふれあいの里どんぐりとは車で1時間半離れた距離にあり、同法人傘下に入る事は困難。生活の場としてケアホームの必要性は感じているが、まず障害程度区分について学習し判定を受ける

たましろの郷（東京都） 行政からは「どの事業へ移行するのか方針を早く示せ」と言われるが実際になかまが障害程度区分判定を受け、現状を見てからでないとの事業へ移行するか検討できないので、折り合いがつかず移行時期も未定

遠州みみの里（静岡県） 運営主体が浜松市身体障害者協会なので自分達独自で動きにくい。行政からは法人取得を迫られNPOか、県聴協の社団法人傘下に入るか検討

聴覚・ろう重複センター碧[みどり]（愛知県） NPOつくし全体として今年度4月に移行。旧デイサービス事業は廃止、旧ワークショップつくし、それぞれ地域活動支援センターⅢ型に移行

いっぽの家作業所（奈良県） 今年度中にNPO法人を取得予定、将来的には県聴協の社団法人傘下に入る事を検討、地域活動支援センターⅢ型に移行を検討

京都市聴覚言語障害センター（京都府） 現在の平均工賃13,000円を20,000円まで引き上げる事を目標とし職員数も現行を下回らない方法で移行を模索

なかまの里（大阪府） 障害程度区分に関する学習会開催。7月に福祉事務所担当者を交えて、施設・家族との懇談会を予定。障害程度区分判定を受けてなかまの現状に合わせた移行を検討したいので、この確約を取り付けるのが目的

・学習会：個別支援計画にあたっての留意点等について

セルフ協で使われた資料をもとに、個別支援計画作成の必要性、作成にあたっての留意点を学習

・サービス管理責任者欠如減算 30% ・個別支援計画未作成減算 5%

・通所施設を一定期間以上欠席した者に対する訪問支援や、入所施設利用者が入院した場合に対する訪問支援にも一定の報酬が定められているが、報酬を得るためには「施設外支援を行う旨」を個別支援計画作成の段階で盛り込んでおく事が必要で、しかもその全てが応益負担の対象となる

・18年10月2日に厚生労働省から出された「労働者性の問題」について…昭和26年10月に制定された労働基準法からほとんどそのまま引用

→ 欠勤、遅刻、早退、作業割当未達成の場合の工賃減額制裁を設けない

新しいなかまへインタビュー♪



◇ スタッフ協力者募集 ◇

なかまと一緒に仕事をしたり、行事に出かけたり…
作業所での彼らの生活をサポートしてくれるスタッフを
募集しています。

「個性豊かななかま達と一緒に過ごしてみたい！」
という方、お気軽にお問い合わせ下さい！

《平成19年度会費納入のお願い》

来年度もご協力よろしくお願いします！ たくさんの方々のご入会をお待ちしています！

(なお、本状と入れ違いに、すでに入金頂きました場合はお許し下さい)

個人：1口 2,000円 団体：1口 5,000円

皆さんのまわりの人にも、ぜひ入会を呼びかけて下さい 会員の方々には後援会ニュース
「わ・和・輪」をお届けします！ お申込みは神戸ろうあハウス・もよりの運営委員まで。

☆郵便局からの振り込みも可能です☆

口座番号： 00980-5-4680
口座名称「共同作業所神戸ろうあハウス」

おまちしています
おまちしています

☆平成19年度 新規入会ありがとうございます(順不同・敬称略)

神戸市 : 安田 伸美・森 とみ子

☆平成19年度 継続支援ありがとうございます(順不同・敬称略)

神戸市 : 眞木 崇江・遠山 久美・若宮 光子・佐々木 文子・早柏 良子
幸泉 正子・秋月 倫子・岸本 賀緒里・塩田 喜美子・正岡 由美
松岡 裕子・大石 孝子・南山 邦子・小野 賢治・小野 多恵子
田中美穂・藤江 直子・小巻 徹雄・小巻 陽子・新城 満喜子
上田 由紀子・長塚 寿子・馬場 かをる・柏木 圭子・大久保 秀子
内田 由利子・池田 美紀子・木村 昌範・木村 喜美江・藤田 美佐子
林 久夫・林 明美

川崎市 : 岸本 規男

尼崎市 : 木谷 玲子

高砂市 : 福沢 しづ子

宇都宮市 : 栗原 尚子

団体 : 垂友会・神戸市聴力言語障害者福祉協会兵庫支部・すずめのお宿・手話サークル西

☆「以前の後援会ニュース・作業所だよりがほしい」という方はお気軽に申し付け下さい